

# しまねの 2023 農業農村整備

～力強く活力あるしまねの農業農村を目指して～



人口減少に打ち勝ち、笑顔で暮らせる島根をつくる

**島根\*創生**  
SHIMANE SOUSEI

島根県農林水産部  
農村整備課・農地整備課



# 島根県農林水産基本計画



## ○計画の概要

島根県では、県の最上位計画である「島根創生計画」の実行計画として、持続可能な農林水産業・農山漁村を実現するための重点的な取組を定めた「島根県農林水産基本計画（計画期間：R2年度～R6年度）」を策定しています。 ※農林水産基本計画は島根県HP（下記URL）から閲覧できます。

<https://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/info/kihonkeikaku/>

## ○将来ビジョン・基本目標

- ・将来ビジョン 可能な限り早期に農業算出額100億円増を目指す（基準：629億円（平成28年））
- ・計画期間における目標 設定する重点推進事項において、効果額を100億円生み出す

- ・将来ビジョン 今後10年間で、担い手不在の集落の過半（550）の担い手不在状態を解消
- ・計画期間における目標 275の担い手不在集落で担い手不在状態を解消

## ○重点推進事項

### (1)ひとづくり

- ①新規自営就農者の確保
- ②中核的な担い手の形成
- ③集落営農組織の経営改善
- ④地域をけん引する経営体の増加
- ⑤将来性のある産地の拡大

### (2)ものづくり

- ⑥水田園芸の推進
- ⑦有機農業の拡大
- ⑧美味しません認証を核としたGAPの推進
- ⑨肉用牛生産の拡大
- ⑩持続可能な米づくりの確立

### (3)農村・地域づくり

- ⑪日本型直接支払制度の取組拡大
- ⑫地域が必要とする多様な担い手の確保・育成
- ⑬鳥獣被害対策の推進

※太字の部分が農業農村整備事業と関連が深い事項です。

## Opick up → 水田園芸の推進

### 農業の現状

- ・米の消費減少、価格低迷により農業産出額が減少
- ・島根県は全国の中でも農地に占める水田割合が高い

島根県の農業を盛り上げるためには  
米に依存する体質から脱却することが不可欠!!

### 具体的な取組

- ・今後需要拡大が見込まれる作物
- ・機械化や省力化が見込まれる作物

### 県推進6品目

- 生産性の向上（機械化や省力化）
  - 安定的な販路確保（市・JA等と連携）
- 県と地域が一体となって取り組み水田園芸を推進

農業産出額100億円増を目指す!!

### 県推進6品目



## (参考) 計画目標（効果額100億円）と重点推進事項における個別目標の関係

ものづくり		水田園芸	有機農業	肉用牛生産	その他品目 (GAP、米づくりを含む)	
		県推進6品目で それぞれ10億円	有機JAS比率 1.0%	子牛頭数増 2,300頭	GAP実施 5割	担い手への集積50% うち2/3で 9,600/60kg
新規就農者	60人/年	(想定効果額) 35億円	(想定効果額) 10億円	(想定効果額) 25億円	(想定効果額) 約35億円	
中核的担い手	販売額1,000万円 以上の経営体を 1,000経営体				〔就農5年以内の認定新規就農者とあ らかじめ設定する重点支援対象者(認 定農業者であって販売額1,000万円を 目指す農業者)における期間中の販売 増加額(累計)から、水田園芸6品目と有 機農業、肉用牛生産に係る額を控除〕	
集落営農	多角化率 60%	〔令和6年の販売額－ 令和元年の販売額〕	〔令和6年の販売額－ 令和元年の販売額〕	〔(令和6年－令和元年の 子牛出荷頭数) × 平均子牛価格〕 + 〔(令和6年－令和元年の 肥育牛出荷頭数) × (平均枝肉価格－ 平均子牛価格)〕	〔集落営農法人における令和2年以降の主 食用米以外の販売増加額(新たに生産 を開始した分を含む)から、水田園芸6品目 と有機農業、肉用牛生産に係る額を控除〕	
地域けん引 経営体	5経営体				〔令和2年以降参入した地域けん引経営 体の令和6年販売額から、水田園芸6 品目と有機農業、肉用牛生産に係る額 を控除〕	
将来性のある 産地づくり	-				※産地創生事業の支援産地 に限り生産額増加分を計上	

## 統計から見る島根県の農業



項目	単位	島根県	全国	順位	調査年
面積	km <sup>2</sup>	<b>6,707.90</b>	377,974.63	<b>19</b>	R 3年
人口	人	<b>664,887</b>	125,502,290	<b>46</b>	R 3年
世帯数	世帯	<b>293,449</b>	59,761,065	<b>46</b>	R 4年
人口密度	人/km <sup>2</sup>	<b>100.1</b>	338.2	<b>43</b>	R 2年
65才以上人口の割合	%	<b>34.5</b>	28.9	<b>5</b>	R 3年
総農家数	戸	<b>27,186</b>	1,747,079	<b>32</b>	R 2年
販売農家	戸	<b>14,397</b>	1,027,892	<b>32</b>	R 2年
自給的農家	戸	<b>12,789</b>	719,187	<b>27</b>	R 2年
基幹的農業従事者数（個人経営体）	人	<b>14,438</b>	1,363,038	<b>39</b>	R 2年
基幹的農業従事者の平均年齢	歳	<b>72.0</b>	67.8	<b>3</b>	R 2年
耕地面積	ha	<b>36,000</b>	4,325,000	<b>36</b>	R 4年
田	ha	<b>29,100</b>	2,352,000	<b>31</b>	R 4年
畑	ha	<b>6,920</b>	1,973,000	<b>36</b>	R 4年
水稲作付面積	ha	<b>16,400</b>	1,355,000	<b>30</b>	R 4年
水稲収穫量	t	<b>85,100</b>	7,269,000	<b>30</b>	R 4年
乳用牛飼育頭数	頭	<b>10,900</b>	1,371,000	<b>21</b>	R 4年
肉用牛飼育頭数	頭	<b>32,800</b>	2,614,000	<b>22</b>	R 4年
農業産出額	億円	<b>611</b>	88,600	<b>40</b>	R 3年
生産農業所得額	億円	<b>245</b>	33,653	<b>39</b>	R 3年

※人口は各都道府県との比較のため、総務省「人口推計」を用いた。  
資料：県勢要覧、農林業センサス、農林水産統計年報

# 市町村別農業の主要統計指標



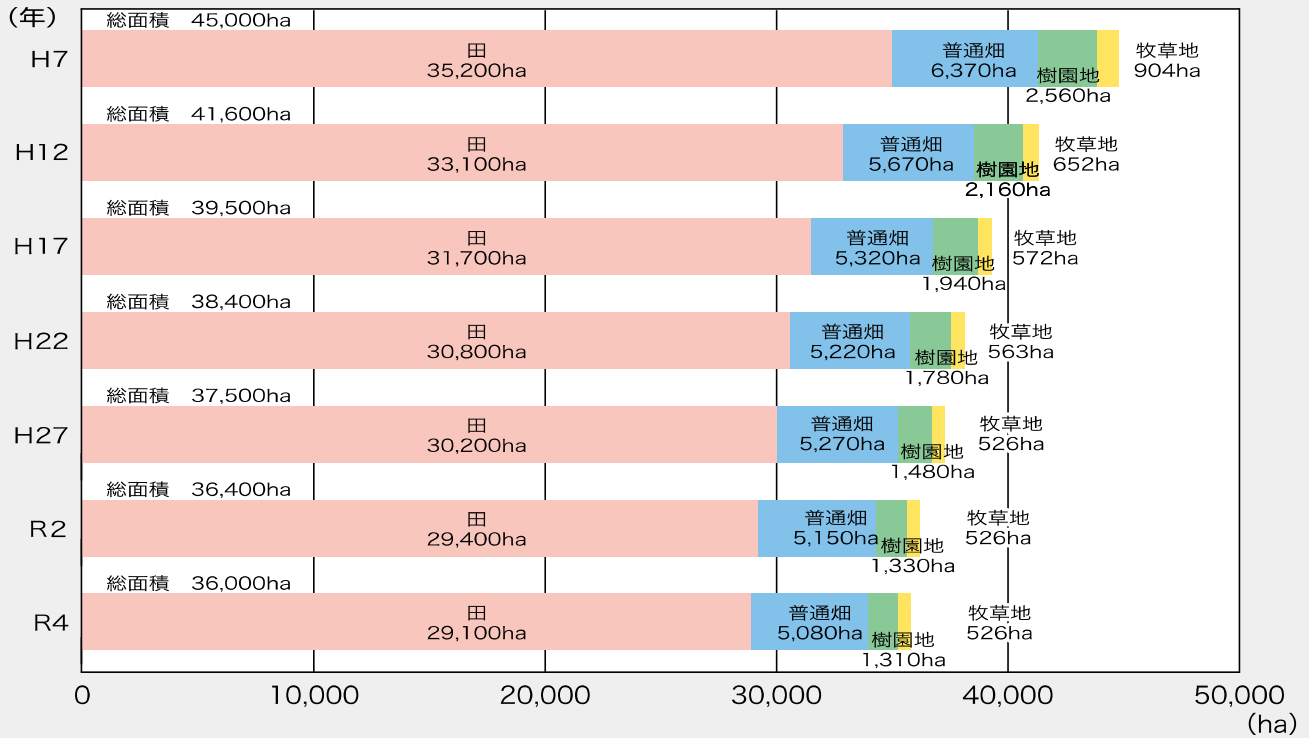
区分	総農家 (戸)	販売農家 (戸)	自給的農家 (戸)	基幹的農業 従事者数 (人)	人口 (人)
調査年	R元年	R元年	R元年	R元年	R4.10.1
島根県	27,186	14,397	12,789	14,438	657,842
松江市	3,635	1,622	2,013	1,687	200,880
浜田市	2,010	1,062	948	976	52,688
出雲市	5,561	2,487	3,074	2,836	172,428
益田市	1,727	810	917	918	43,753
大田市	1,629	827	802	805	31,793
安来市	2,401	1,640	761	1,733	35,740
江津市	663	234	429	222	22,067
雲南市	3,256	1,791	1,465	1,598	34,646
奥出雲町	1,633	1,246	387	1,108	11,296
飯南町	507	392	115	367	4,432
川本町	224	130	94	151	3,117
美郷町	472	233	239	218	4,085
邑南町	1,405	918	487	859	9,795
津和野町	576	290	286	336	6,618
吉賀町	702	444	258	377	5,759
海士町	119	55	64	40	2,314
西ノ島町	46	25	21	23	2,660
知夫村	25	16	9	20	607
隠岐の島町	595	175	420	164	13,164

区分	耕地面積 (ha)			認定農業者数 (経営体数)	集落営農組織数 (組織数)
	R4年	田 (ha)	畑 (ha)		
調査年	R4年	R4年	R4年	R4年	R4年
島根県	36,000	29,100	6,920	1,171	673
松江市	4,540	3,180	1,360	96	51
浜田市	2,350	1,920	429	56	34
出雲市	7,670	6,610	1,060	346	118
益田市	2,120	1,490	631	111	34
大田市	2,360	1,770	586	76	44
安来市	3,930	3,360	572	95	63
江津市	614	486	128	17	4
雲南市	3,460	2,870	595	72	91
奥出雲町	2,490	2,040	452	69	71
飯南町	1,160	1,010	154	40	40
川本町	334	249	85	9	5
美郷町	643	496	147	17	31
邑南町	1,880	1,630	253	50	47
津和野町	729	602	127	42	26
吉賀町	845	727	118	28	12
海士町	191	123	68	7	1
西ノ島町	32	11	21	1	0
知夫村	16	1	15	7	0
隠岐の島町	630	511	119	24	1

※1. 耕地面積は、端数処理の関係で合計が一致しない場合がある。  
 ※2. 人口は県統計調査課「島根の人口移動と推計人口」を用いた。

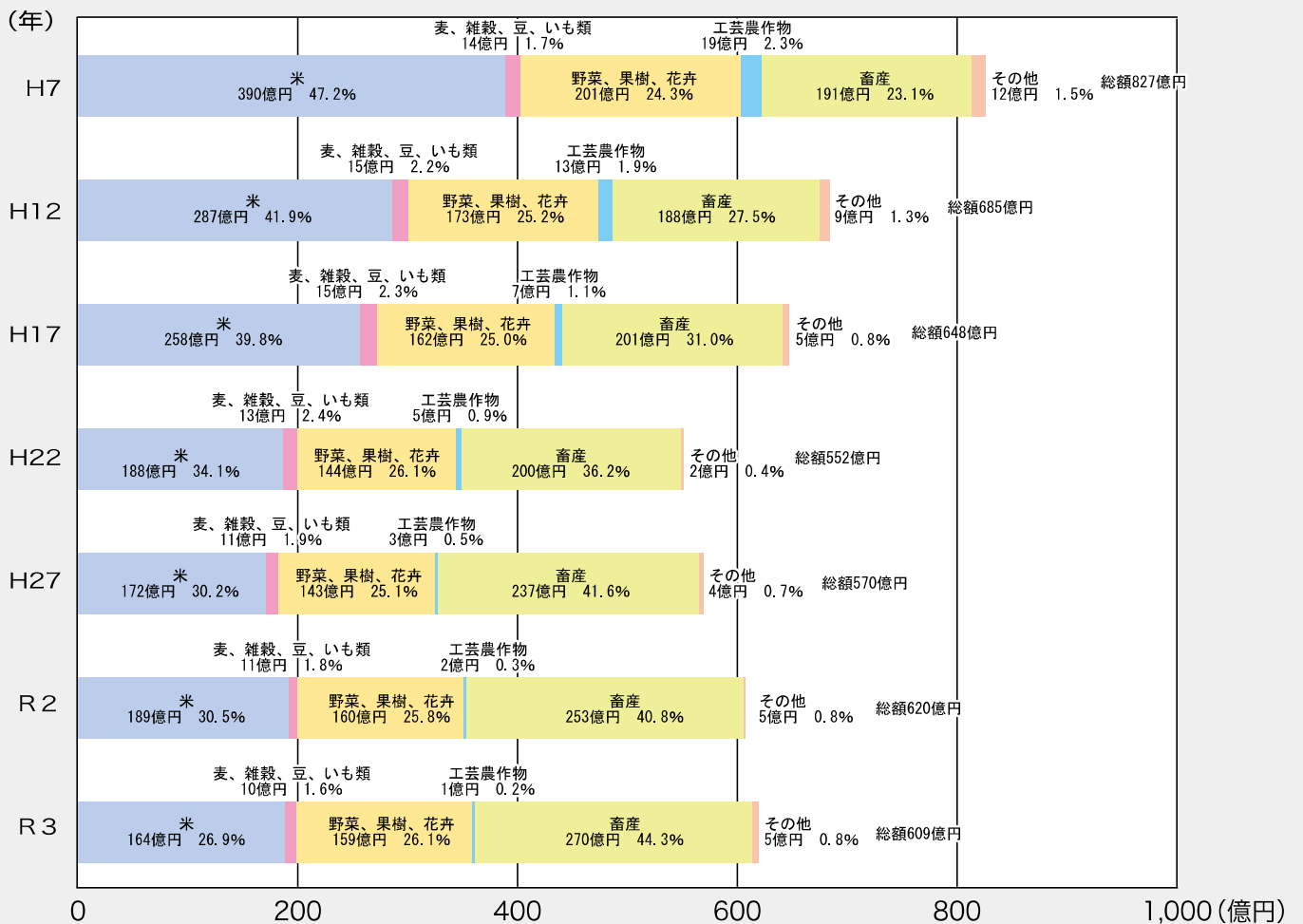


# 耕地面積



資料：農林水産省 面積調査 耕地及び作付面積統計

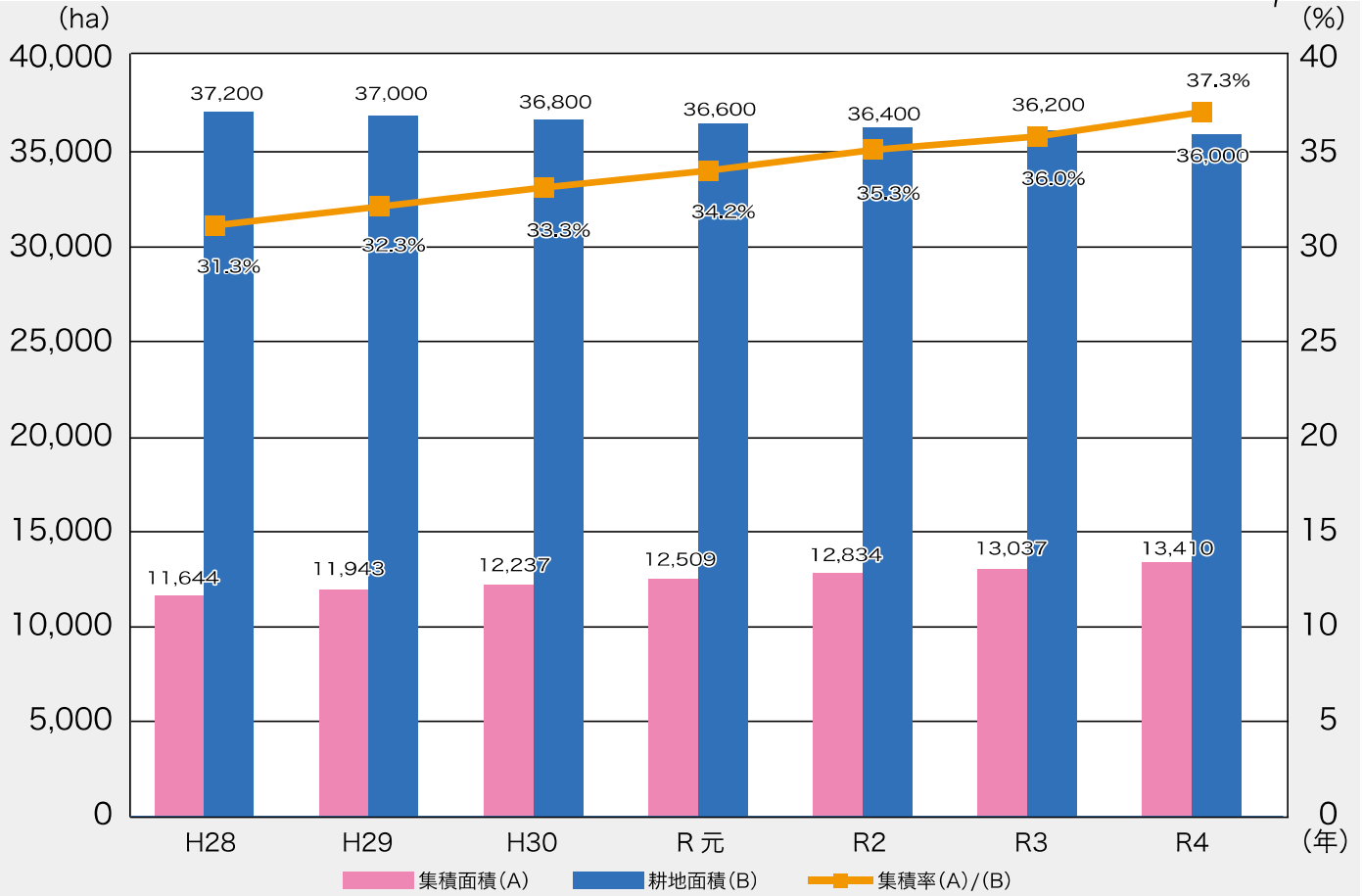
# 農業産出額



※割合 (%) の合計は、端数処理の関係で「100」とならない場合がある。

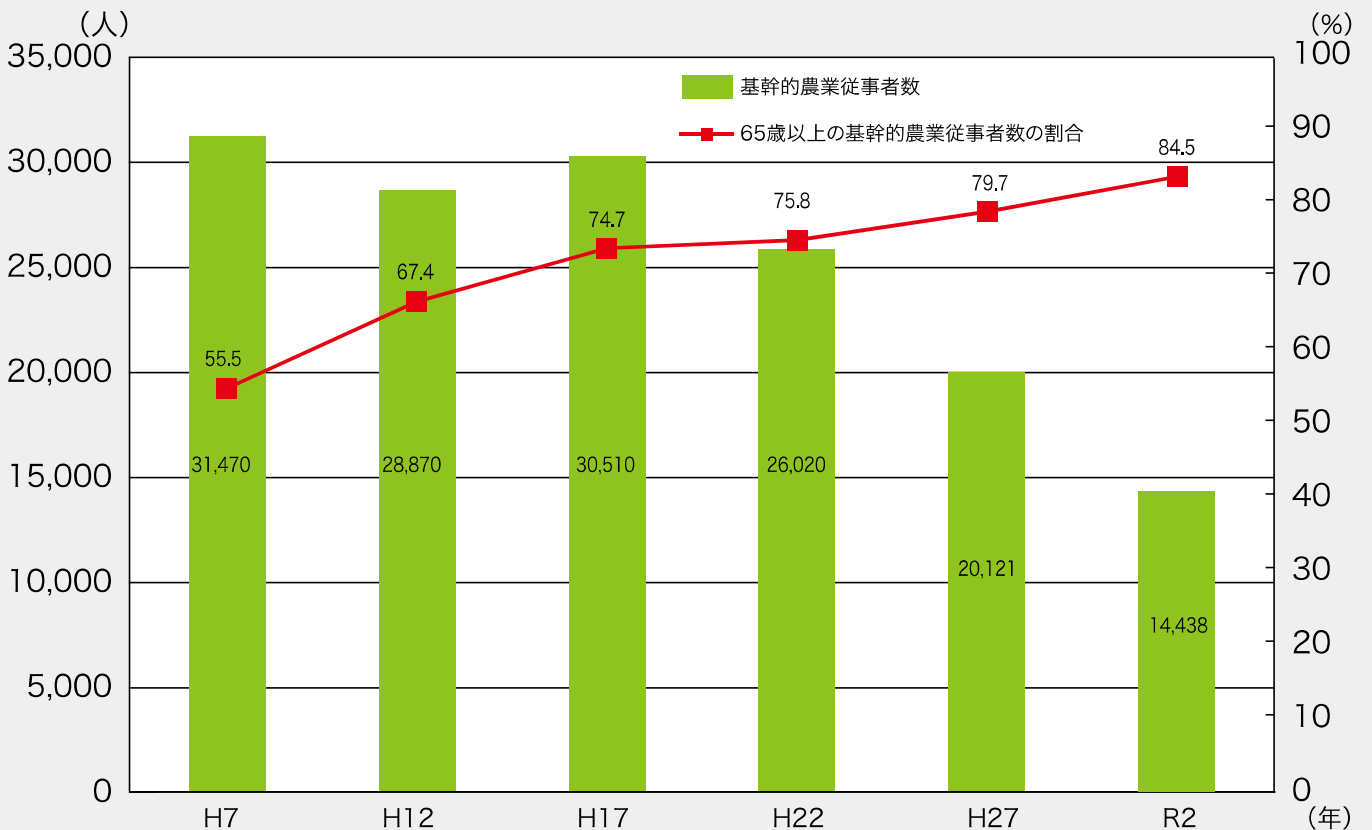
資料：農林水産統計年報

## 担い手への農地集積状況



資料：島根県農業経営課

## 基幹的農業従事者数の推移



資料：農林業センサス

# ほ場整備率(市町村別)



令和4年度末

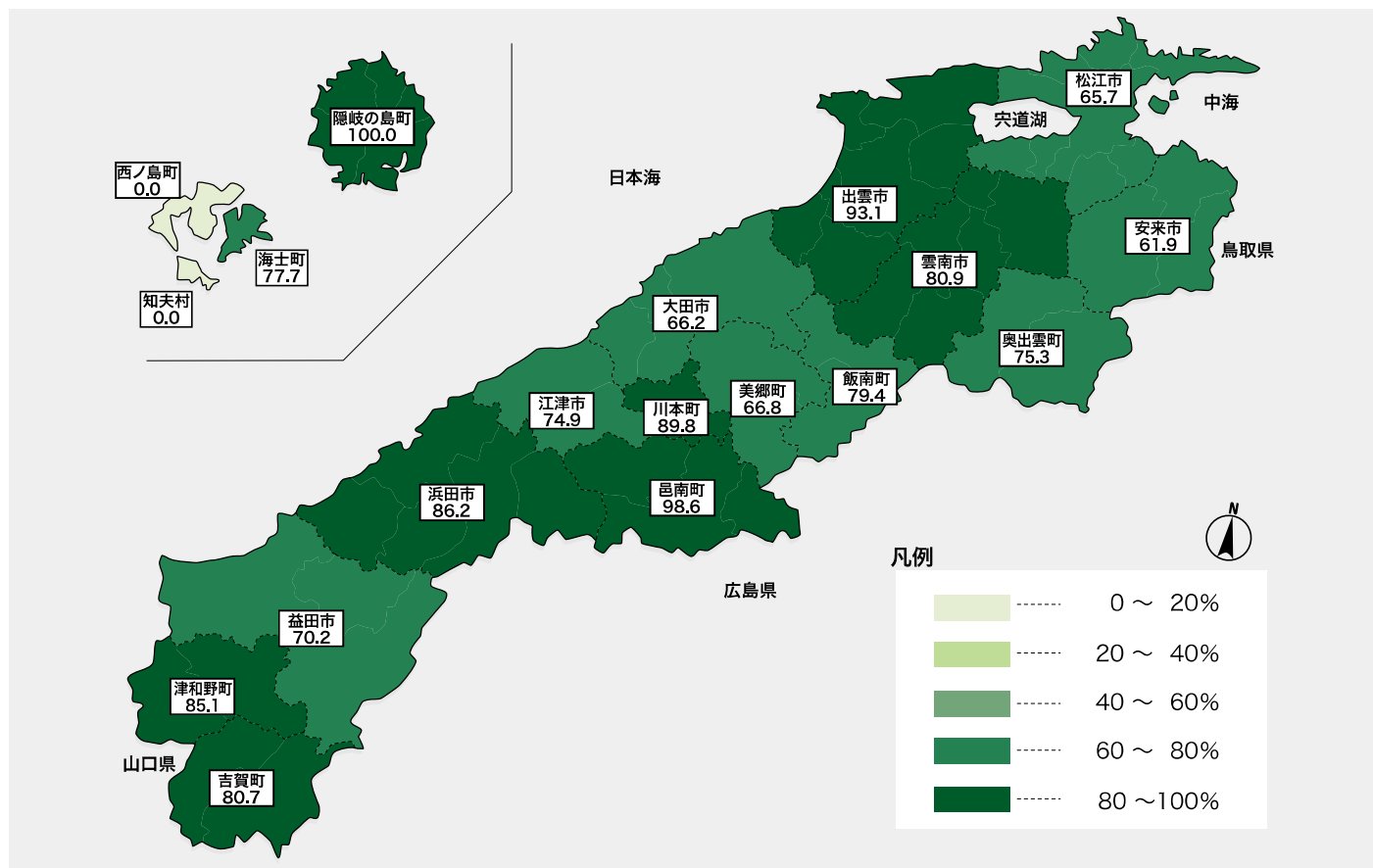
市町村名	ほ場整備率 (%)				整備面積 (ha)			
	田		畑	計	田		畑	計
		大区画				大区画		
松江市	65.7	1.6	25.4	53.6	2,086.6	47.3	345.8	2,432.4
浜田市	86.2	0.0	34.4	76.8	1,655.6	0.0	147.4	1,803.0
出雲市	93.1	6.6	40.4	85.8	6,153.6	392.3	428.3	6,581.9
益田市	70.2	3.0	78.3	72.6	1,045.3	44.5	494.2	1,539.5
大田市	66.2	1.2	32.3	57.8	1,161.5	21.1	188.3	1,349.8
安来市	61.9	17.2	34.4	57.9	2,071.9	575.5	196.5	2,268.4
江津市	74.9	12.8	8.9	61.2	364.2	62.3	11.4	375.6
雲南市	80.9	2.8	40.2	73.9	2,320.0	80.2	238.3	2,558.3
奥出雲町	75.3	0.1	90.4	78.0	1,535.1	2.3	408.4	1,943.5
飯南町	79.4	1.2	13.1	70.6	801.8	12.5	20.1	821.9
川本町	89.8	0.0	82.1	87.8	223.5	0.0	69.8	293.3
美郷町	66.8	0.0	69.0	67.3	331.4	0.0	101.4	432.8
邑南町	98.6	0.0	53.6	92.5	1,606.8	0.0	135.7	1,742.5
津和野町	85.1	2.5	36.3	76.6	512.4	13.1	46.1	558.5
吉賀町	80.7	8.6	9.2	70.7	586.5	44.4	10.7	597.2
海士町	77.7	0.0	18.8	56.8	95.6	0.0	12.8	108.4
西ノ島町	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
知夫村	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
隠岐の島町	100.0	3.3	20.8	86.1	517.8	16.9	24.7	542.5
計	79.4	4.8	41.6	72.1	23,069.6	1,312.4	2,879.9	25,949.5

※整備面積:昭和38年以降に実施した補助事業等によるほ場整備面積(ほ場整備事業以外にも含む、30a以下も含む)

※大区画: 1区画50a以上

資料: 島根県農村整備課

## 水田の整備状況



# 「多面的機能支払交付金」の取組状況



市町村名	農用地面積 (ha)	取組状況 (令和5年3月31日時点)								
		①農地維持支払交付金			②資源向上支払交付金 (共同活動)			③資源向上支払交付金 (長寿命化)		
		組織数	交付対象農用地面積 (ha)	カバー率	組織数	交付対象農用地面積 (ha)	カバー率	組織数	交付対象農用地面積 (ha)	カバー率
松江市	4,410	73	2,406	54.6%	62	2,214	50.2%	36	1,511	34.3%
浜田市	3,075	37	2,425	78.9%	34	1,290	41.9%	22	1,086	35.3%
出雲市	8,435	87	1,739	20.6%	75	5,366	63.6%	54	3,114	36.9%
益田市	1,963	28	2,477	126.1%	27	652	33.2%	8	393	20.0%
大田市	2,186	70	1,066	48.7%	47	1,003	45.9%	43	867	39.7%
安来市	4,649	95	5,615	120.8%	72	2,086	44.9%	66	1,697	36.5%
江津市	551	15	120	21.8%	13	329	59.7%	7	190	34.5%
雲南市	4,052	83	251	6.2%	82	1,735	42.8%	67	1,539	38.0%
奥出雲町	2,779	9	1,568	56.4%	9	2,477	89.1%	9	2,477	89.1%
飯南町	1,325	22	1,239	93.5%	22	1,066	80.4%	21	1,060	80.0%
川本町	402	1	1,306	324.9%	1	120	30.0%	1	120	30.0%
美郷町	602	24	358	59.5%	24	251	41.6%	10	114	18.9%
邑南町	1,729	8	657	38.0%	8	1,568	90.7%	8	1,568	90.7%
津和野町	738	35	463	62.8%	32	441	59.7%	21	304	41.1%
吉賀町	846	8	188	22.2%	7	179	21.2%	1	30	3.5%
海士町	212	1	107	50.6%	1	107	50.6%	1	107	50.6%
西ノ島町	696	1	338	48.6%	1	338	48.6%	1	338	48.6%
知夫村	272	1	244	89.8%	1	244	89.8%	1	244	89.8%
隠岐の島町	987	16	307	31.1%	9	206	20.9%	12	250	25.3%
計	39,909	614	22,875	57.3%	527	21,670	54.3%	389	17,010	42.6%

※本表の農用地面積は、田、畑のほか、草地等の面積を含む。

資料：島根県農山漁村振興課

# 「多面的機能支払交付金」の活動状況

## 農地維持活動



農道法面の草刈を行っています。



用水路に溜まった泥上げを行っています。

## 資源向上活動



ほ場法面に芝桜を植生し、景観の形成及び草刈りの省力化を図っています。



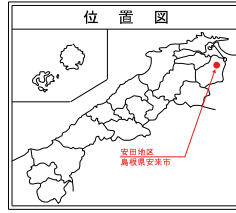
農道をコンクリートで舗装しています。



## 地区概要

### やすだ 安田地区（安来市）

- 主な支援施策  
農業競争力強化基盤整備事業（H27～R3）
- 主要作物  
水稲、大豆、飼料米、アスパラガス



整備前 標準区画10aだったものが、

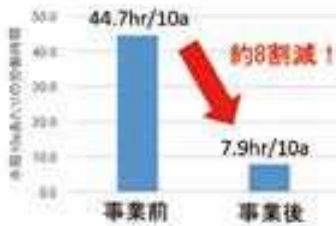
### 事業実施による営農の効率化

- 区画整理の実施により、ほ場を大区画化。大型機械の導入が可能
- FOEAS（地下水制御システム）の導入により水管理を省力化

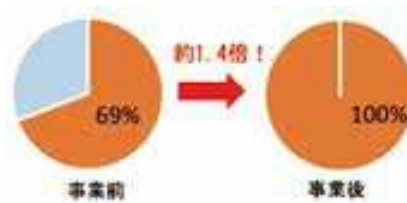
➡ **労働時間の短縮、耕地利用率の向上**に寄与！

## 生産現場

<水稲栽培に係る労働時間(延べ)>



<耕地利用率>



ほ場整備により標準区画1haの大区画に！

### 法人の設立と高収益作物栽培の開始

- 事業を契機に **農事組合法人安田ファーム** を設立
- ほ場整備により作業の効率化を実現できたことで、労働力が創出され、これを活用して、**高収益作物であるアスパラガスの栽培**を開始

収穫や出荷調整作業は法人の**女性組合員が中心**となって実施

## 担い手



女性組合員作業状況

- 令和2年には「**美味しまねゴールド**」を取得し、更なる高付加価値化を推進

### 地域農業の発展へ

- ほ場整備に伴う農地集積により水稲の**生産コストを低減**

<農地集積率>



<水稲の生産コスト>



アスパラガスハウス

## 事業効果

- 高収益作物であるアスパラガスの栽培を開始  
→ 農事組合法人の**経営の多角化、安定化**に寄与！

(収入額)  
事業実施前：44百万円  
事業実施後：73百万円  
約1.6倍！

- 法人独自の取組  
学校教育との連携による**地域農業の持続的発展**  
(地元小学生を招いたアスパラガスの収穫体験、  
地域の中学生の職場体験学習の受け入れ)



地元小学生によるアスパラガス収穫

## 島根県における農業の課題

- ・担い手の減少、高齢化が進む中で一人当たりの作業面積が拡大
- ・営農機械の操作等、熟練の技術を要する作業が多い
- ・中山間地の法面における除草作業など危険で負担のかかる作業が多い etc...



## 先端技術を活用した「スマート農業」で解決！

【課題】担い手の減少、高齢化が進む中で一人当たりの作業面積が拡大

### → ICT型自動給水栓の導入により水管理を省力化



ICT型自動給水栓の設置状況



水管理技術体系イメージ

自動給水栓の導入により、各田区での水管理をリモートで実施。

水管理労力削減により、一人当たりの管理可能な田区数の拡大を実現。

【課題】農業機械の操作等、熟練の技術を要する作業が多い

### → 自動操舵技術の活用により誰でもスムーズな機械操作を実現



自動操舵技術を活用したトラクタ走行



自動操舵技術の搭載状況

自動操舵技術の搭載により、新規就農者等でも熟練者並みのスムーズな機械操作を実現。

【課題】中山間地の法面における除草作業など危険で負担のかかる作業が多い

### → 幅広畦畔やラジコン草刈機の導入により管理労力を削減



アーム式モアによる機械除草



ラジコン草刈機の走行状況

畦畔天端幅を拡幅することによりトラクタの走行を可能にし、人力で作業していた除草作業を機械化。(写真左)

長大法面の除草作業をラジコン草刈機により実施することで安全な草刈作業を実現。(写真右)



県内には約5,000箇所のため池が存在し、決壊時に下流域の施設等に被害を及ぼす可能性があるため池を防災重点農業用ため池として1,305箇所を指定しました。

県では、防災重点農業用ため池について、令和3年3月に策定した「防災重点農業用ため池に係る防災工事等推進計画」に基づき、ハード対策とソフト対策の両面から計画的に防災・減災対策を推進しています。

## 【ハード対策】

### ＜改修工事＞

ため池の老朽度や耐震調査の結果等を基に評価した優先度が高いものから、改修工事を実施していきます。



〈ため池の改修（出雲市）〉

### ＜廃止工事＞

利用されなくなったため池の決壊リスクを除去するために、堤体の開削などの廃止工事を実施していきます。



〈ため池の廃止（出雲市）〉

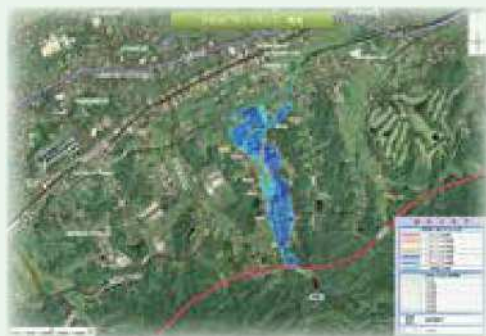


〈ため池の廃止（松江市）〉

## 【ソフト対策】

### ＜ハザードマップ＞

防災重点農業用ため池が決壊した場合に想定される「浸水範囲」、「到達時間」や「避難場所」を示すハザードマップを作成・公表し、防災意識の普及啓発を行っています。



〈ハザードマップ（出雲市）〉

### ＜ため池に関する相談窓口＞

ため池を所有・管理されている方に、ため池の適正な保安全管理や、豪雨等に対する安全性の確保に必要な対策を講じていただくため、専門技術者による相談対応や現地で助言を行う「しまねため池保安全管理サポートセンター」を開設しました。



〈しまねため池保安全管理サポートセンター〉

詳しくはこちら



## 国営緊急農地再編整備事業 宍道湖西岸地区

### 【目的】

生産基盤の整備、土地利用の再編、担い手への農地利用集積を実施することにより、優良農地を確保し、農業振興を基幹とした地域の活性化を図る

### 【地域の課題】

- ・河川より土地が低く、水稻以外の作付（汎用化・畑地化）が困難
- ・区画が狭小で耕作道が狭く、大型機械を利用した規模拡大が困難
- ・農家の高齢化の進行と米価の低迷が続き、後継者が不足



【狭小な区画、狭い耕作道】



【農地の湛水被害】



【排水不良のブロッコリー畑】



位置図

受益面積：456ha  
 事業工期：H30～R11  
 総事業費：260億円  
 主要工事：区画整理 448ha  
           排水機場 3箇所  
           排水路 12.5km

農地の大区画化・汎用化  
排水対策の強化

### ○高収益作物作付面積の拡大(27ha→287ha)



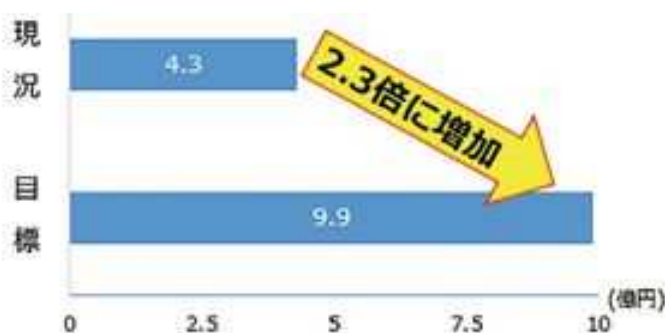
### 【県内初の小豆産地の形成】

- ・実需者、農機メーカー、普及・研究機関など産学官連携の下、大規模小豆産地の形成を目指します



【小豆初刈り式】

### ○農業生産額の増大(4.3億円→9.9億円)



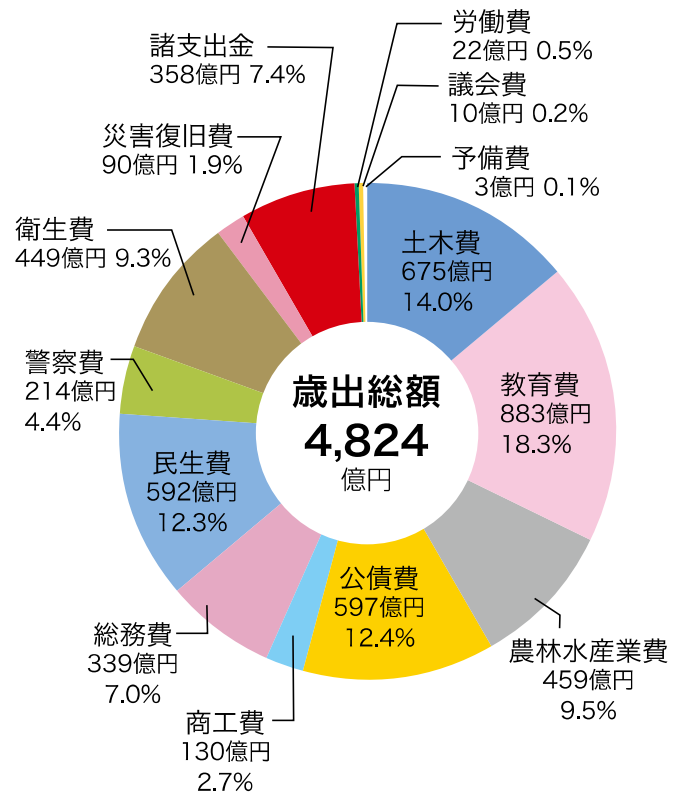
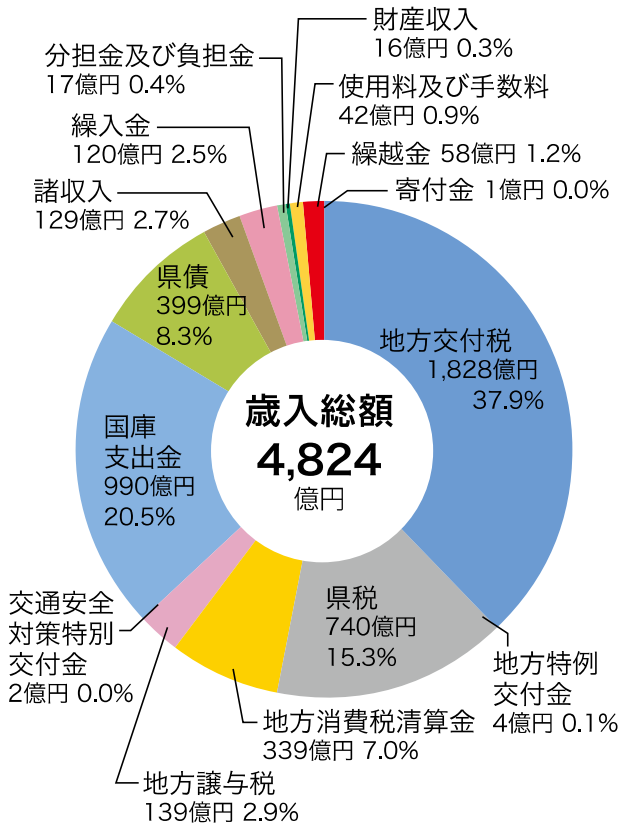
### 【工事実施状況】

- ・布崎排水機場

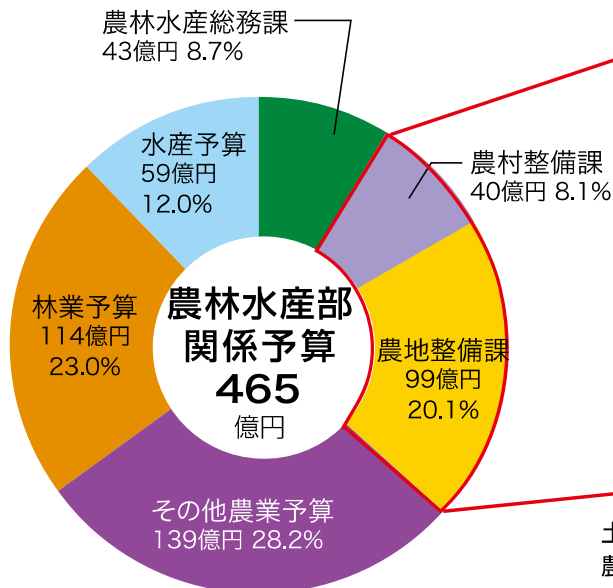


【布崎工区】

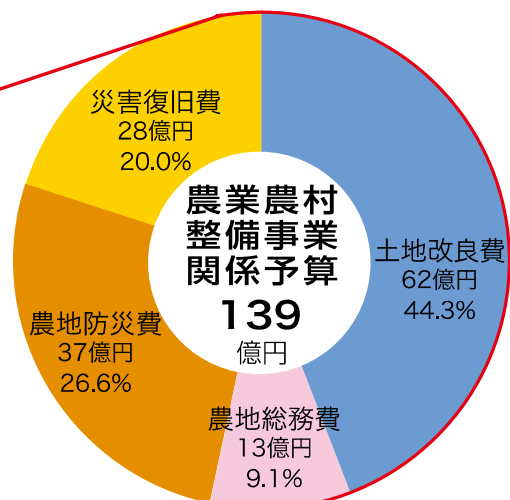
## 一般会計予算



## 農林水産部関係予算



## 農業農村整備事業関係予算

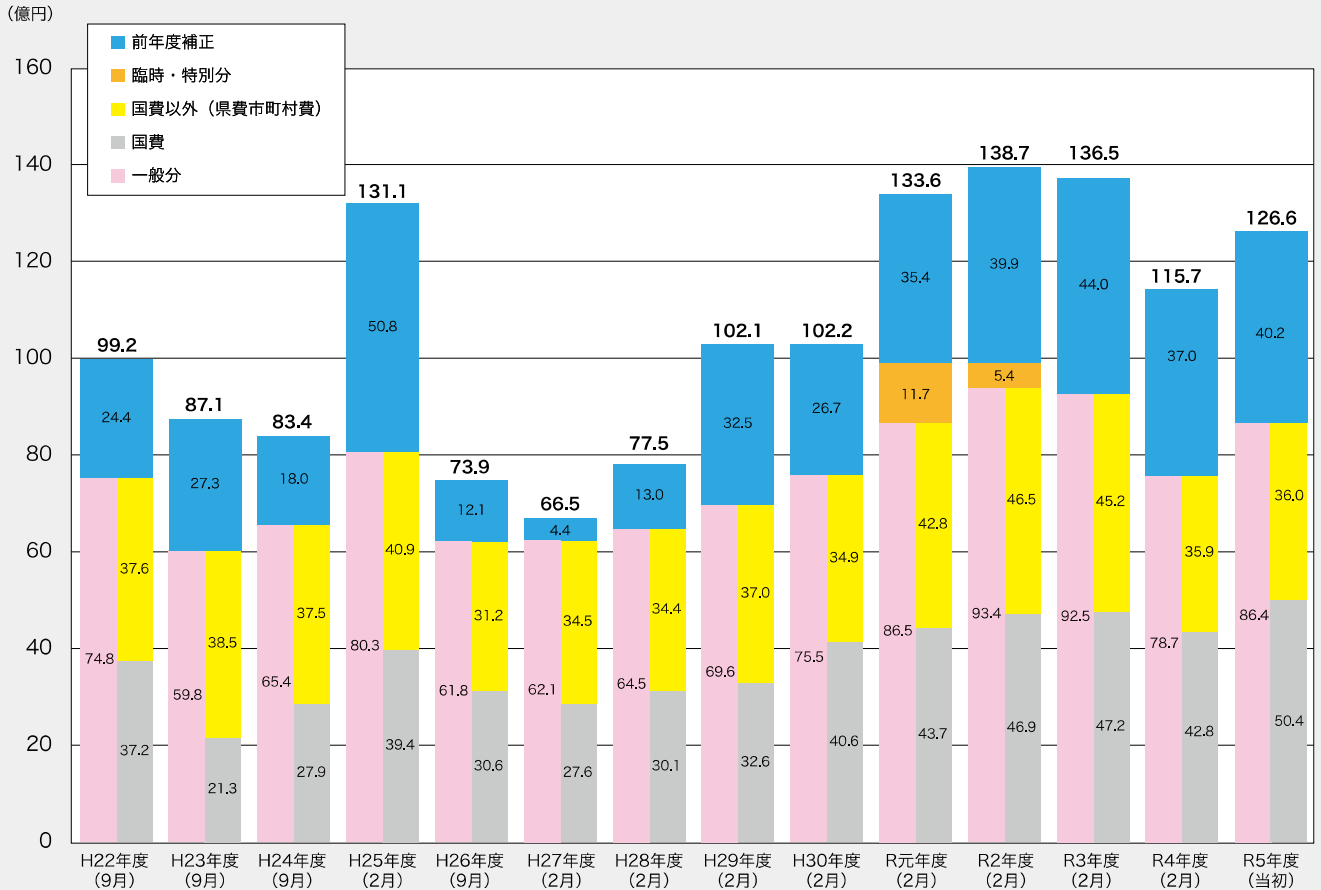


土地改良費：ほ場整備事業、農道整備事業、かんがい排水事業等  
 農地防災費：地すべり対策事業、ため池整備事業等  
 災害復旧費：災害復旧事業  
 農地総務費：事務的経費等

\*端数処理の関係で、各グラフの割合 (%) の合計は「100」とならない。

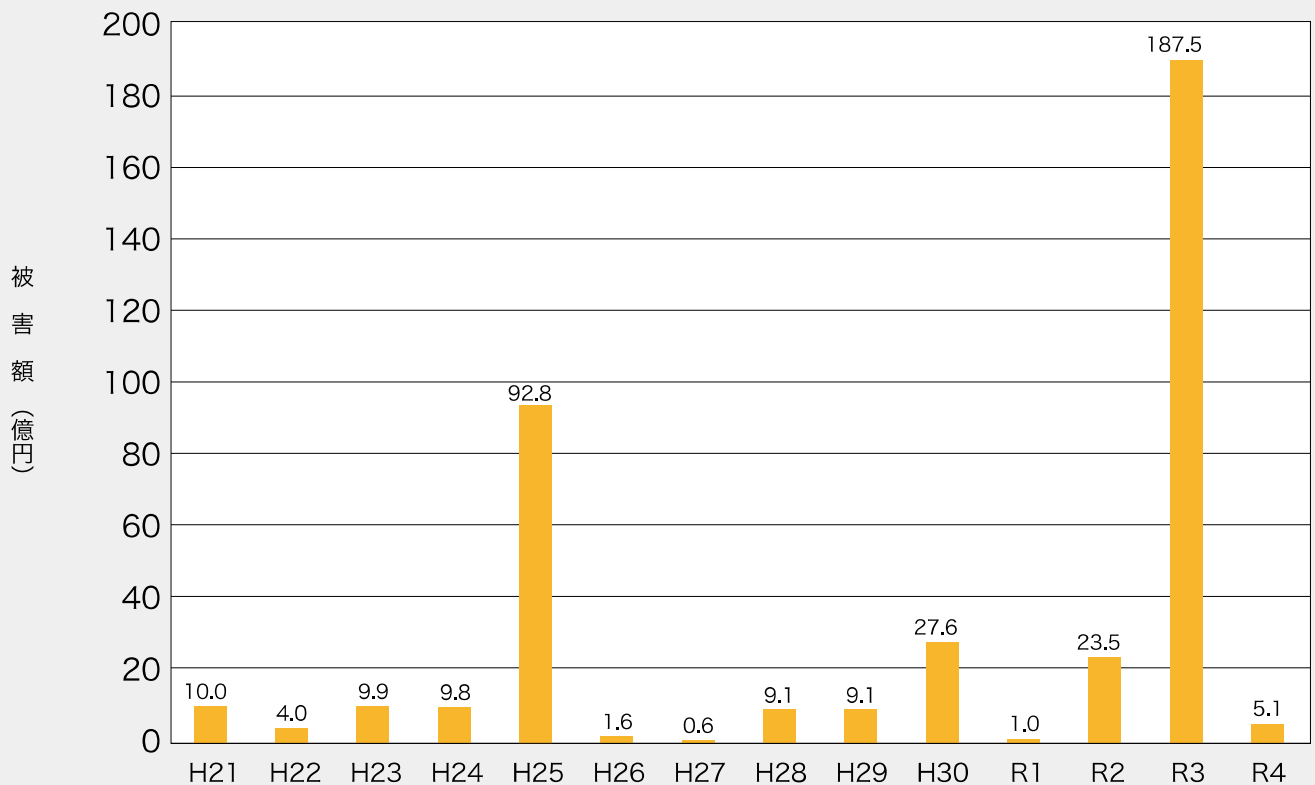


# 農業農村整備事業費の推移



※国直轄負担金、災害関係事業費等を除く

# 農地・農業用施設等災害の被害額



※R3の被害額は、昭和58年(約400億円)に次ぐ、過去2番目の被害額  
 ※農業集落排水施設の被害額は除く





## 総合土木職採用

### 一般土木

道路・河川・港湾・都市計画などの調査計画・設計・積算・施工管理等の業務に従事します。

県庁勤務：土木部 技術管理課、都市計画課など

地方勤務：県土整備事務所 土木工務部、維持管理部  
浜田河川総合開発事務所など



道路



河川



砂防



港湾



空港



都市計画

### 農業農村整備

農業農村整備（ほ場整備、農道、農地防災等）などの調査計画・設計・積算・施工管理等の業務に従事します。

県庁勤務：農林水産部 農村整備課、農地整備課など

地方勤務：県土整備事務所 農林工務部  
農林水産振興センター 調査計画Sなど



ほ場整備



スマート農業



ため池整備



水利施設整備



農地防災



農道整備

## 総合土木職は土木事業の総合プロデューサー

行政として段階的に判断

地域の状況把握

事業の必要性を判断

事業化を判断

工事実施を判断

完成

維持管理の検討

調査業務の発注・監督

設計業務の発注・監督

工事の発注・監督

事業着手

現地測量・地質調査

詳細設計

用地測量・物件調査

用地交渉・契約

工事説明

工事着手

工事完成

維持管理

測量・設計  
コンサルタント

ゼネコン  
建設業者



## 農林水産部 農村整備課 (H30年度採用職員)

### 入庁理由・きっかけ

#### 憧れを現実に

子供の頃、ほ場整備事業により水田が大きくなったり、水路がきれいになる様子を見て興味を持ったのがきっかけです。高校生の時に農業土木という言葉を知り、農業土木を学ぶために大学へ進学、島根県のNN職員になろうと決めました。



### NN職員のやりがい

#### 農村地域の未来を考え、動き続ける

農業農村整備事業には、調査・計画、設計、工事という工程がありますが、NN職員は、この全ての工程のマネジメントを行っています。農村地域の皆さんと地域の未来について考え、農業土木の力でカタチにする仕事です。地域の皆さんと思い描いた未来を実際にカタチにすることができるこの仕事に非常にやりがいを感じています。



## 出雲県土整備事務所 農村整備課 (H31年度採用職員)

### 入庁理由・きっかけ

#### 生まれ育った島根県に恩返しを

生まれ育ったこの自然豊かな島根県に貢献したいといった気持ちから、漠然と県職員を目指すようになりました。県職員について調べていくうちに、地元と合意形成を図り、安心安全な農村暮らしを提供することのできる農業土木の仕事に憧れ、NN職員になろうと決めました。



### NN職員のやりがい

#### やりがい豊富なNN職員

やりがいを五感を通じて感じることができる仕事だと思えます。工事により完成がカタチとなって目に見え、地元から「営農がしやすくなったよ、ありがとう」と感謝の言葉をいただくと、非常に達成感と満足感があります。また、整備した農地で栽培した野菜やお米はとても美味しく感じますし、現場では農村風景の澄み切った空気の香りに触れることができます。





### 松江県土整備事務所 ほ場整備第二課 (H31年度採用職員)

#### 入庁理由・きっかけ

##### 幼い頃の憧れを実現するために

幼い頃、市役所で働く父が、自分の暮らす街や人に関わる仕事をしているのを身近で見ていました。小さな街の変化が、幼い私にとってはすごく大きな変化に感じ、心を奪われ、人と関わり、地域をデザインできる仕事に憧れを抱きました。この憧れを実現できる仕事として島根県職員を選びました。



#### NN職員のやりがい

##### 地域の人たちとともに未来をカタチ作る

農業農村整備事業には、調査・計画、設計、工事という工程があり、この全ての工程に携わることができます。農村地域の皆さんと地域の未来について考え、農業土木の力でカタチにする仕事です。地域の皆さんと描いた未来を実際にカタチにすることができるこの仕事に非常にやりがいを感じています。



### 出雲県土整備事務所 防災課 (H31年度採用職員)

#### 入庁理由・きっかけ

##### 先輩の背中を見て...

幼い頃から田畑に触れる機会が多く、土木職にも興味があったため農業土木を学べる高校へ進学しました。在学中に進路の決まっていなかった私は、高校の先輩方がNN職員になることを目指して奮闘する姿を見て農業農村整備に興味を持ち、NN職員になることを決めました。



#### NN職員のやりがい

##### NNならではの「感動」

自分の携わった工事が、島根県の美しい景色に溶け込む様子を見ると感動と達成感が得られます。時には、より良いものを作るために工事関係者と苦悩することもあります。その分、得られる達成感が大きく、悩んだ数だけスキルアップに繋がることにやりがいを感じます。



## 県央県土整備事務所 用地課(H31年度採用職員)

### 入庁理由・きっかけ

#### 農業従事者の負担軽減のために

小さい頃から祖父母が農業をしていたため農業を身近に感じていました。高校生の時、祖父から「農業従事者の高齢化問題」について聞き、実際に周りを見回してみると高齢の方ばかりで、負担を軽減するにはどうすればいいのかを考え、「農業従事者の方々が作業しやすい環境を作りたい!」と思ったことがきっかけでした。



### NN職員のやりがい



#### 知識と思いの融合

業務部に配属となり土木事業も担当したことで、農業農村整備事業は、より地元の方と密に連携して事業計画を決定し、工事等が進められていることに改めて気付きました。NN職員の知識と地域の方の思いを融合させ、より良いものを作り上げることにとてもやりがいを感じています。

## 益田県土整備事務所 農村整備課(H31年度採用職員)

### 入庁理由・きっかけ

#### 農業に興味があって

子供の頃から家庭菜園や授業で行われる野菜作りが好きで、農業を本職とし生活されている方に興味をもったことがきっかけです。農業土木を学ぶために農林高校へ進学、学んだことを島根県の農業に役立てたい!と思い、NN職員になりました。



### NN職員のやりがい



#### 農村地域のため自分にできること

農村地域は様々な課題を抱えていますが、解決に向け農業農村整備事業を実施しています。NN職員は、生産者の皆さんと協力し、問題を解決するまでの一連の流れに携わることができます。農村地域の課題を解消し、生産者の皆さんの要望を現実にするのがこの仕事の大きなやりがいを感じています。

## 益田県土整備事務所 用地第二課(R2年度採用職員)

### 入庁理由・きっかけ

#### 地元島根県で働きたい!

大学生の頃、リクルートで女性職員(技術職)の方のお話を聞き、憧れを持ちました。また、現地研修会に参加した際、整備された農村風景を見て感動し、自分も農業農村整備事業に携わりたいと思ったことがきっかけです。



### NN職員のやりがい



#### 地元の声を形に!

農業農村整備事業では、地元の声をより身近に感じることができより良い環境を地元の方とともに作り上げていくことができます。時には苦勞することもあります。解決に向けたくさんの人と協力していく中で自分自身の成長に繋がりやりがいを感じています。また、自分が関わった地域の農産物を目にしたり食すことでNN職員としてのやりがいをより感じます。